

# 令和5年度 事業報告書

NPO 法人 すぎなみ子育てひろば chouchou

## はじめに

### 法人運営

令和5年度は、その一年前のスタートダッシュから安定した走りへの移行期だった。令和4年度に、認可保育所の運営事業の開始、つどいの広場事業・ひととき保育事業の再開、杉並区の委託事業である、子ども・子育てプラザ善福寺での一時預かり事業の開始が重なった。それぞれの事業がそれぞれの場所、新しい形で再開、始動した。その後試行錯誤を重ねながら、スタート事業の安定した運営、地域からの信頼構築、職場としての環境整備に取り組んできた。

内部の取り組みとして、長く働きたいと思える職場を目指し、退職金制度の準備、借り上げ社宅制度（認可保育所に限る制度）の準備、就業規則の見直しに取り組んだ。また、予算と収支のバランスを見ながら、給与と時給アップを検討した。他にも、職員同士のミーティングを重ね、保育の質を高める努力をし、職員の世代交代、バトンタッチの準備を進めてきた。それと同時に、正規職員、パート職員の採用活動にも力を入れ、新しいメンバーを迎えることができた。出産を迎える職員もおり、産前産後休暇、育児休業によるマンパワーの不足を補いつつ、安定した事業運営をしてきた。また、国の保育施設等における安全対策支援補助金により、樹保育園とひととき保育にAEDを取り付けた。利用者だけでなく、地域の方の救急救命の一助となるよう建物外部にも掲示している。

外部への取り組みとして、第一に広報活動にさらに力を入れた。令和4年度に復活した「chouchou つうしん」は安定した発行を続け、タイムリーな情報発信には、LINE、インスタグラム、ブログなどのSNSを活用した。第二に、地域イベントへ積極的な参加をし、自ら地域に向けたイベントや企画を実施した。令和5年5月には新型コロナウイルスが5類感染症への移行し、地域のイベントも盛り上がりを見せた。区民集会所ちびっこまつり、すぎなみフェスタや町内会の餅つき大会へ参加し、フリーマーケットを開催した。認可保育所の樹保育園では、保育園見学、保育体験、育児相談、保育士職場体験を実施し、多くの地域の方々に樹保育園を知ってもらった。第三に、近隣企業との結びつきを深めた。隣に位置するオマタ・エステートさんによる、産後ケア施設「ママペルシュ」さんが令和5年に開業した。ママペルシュさんとも連携し、妊産婦、乳幼児親子への切れ目ない支援を目指した。最後に、大きな成果をもたらした行政への働きかけがあげられる。杉並区補助金事業である、親子のひろば事業のつどいの広場は、長年にわたり、運営の安定化を目指して運営費補助について行政と協議を重ねてきた。令和5年度は、国の少子化対策として、子ども・子育て支援制度が強化された。このことを受け、つどいの広場の補助金を時代に合ったものへ見直すよう杉並区に強く働きかけた。その結果、令和6年度から、国の要綱に則った金額へと改定されることになったことは大きな成果である。

今後は、この先の5年、10年、20年を見据え、自分たちの存在意義を確認し、事業を継続させることで、様々な人の人生における笑顔のバトンをつなげていく。地域とともに歩んできた20年の歴史を糧に、私たち法人は何ができるのか、今という時代においてあるべき姿が何なのかを考え続けていきたい。

## 広報

- ・ chouchou つうしん 隔月作成・配布 2,000部×6回
- ・ シュシュの事業紹介パンフレット微修正・増刷 1,000部

## 地域とのつながり

- ・ 6/4(日)・10/22(日)・1/28(日) フリーマーケット開催 地域の方もブース利用として参加
- ・ 6/23(金)・11/10(金)・12/12(火)・3/18(月) 杉並区子ども・子育て会議参加
- ・ 6/25(日) 西荻南区民集会所ちびっこ祭り 子ども向けのゲームコーナーの出店 (Fig.1)
- ・ 6/30(金)・3/6(水) 桃一小ネットワーク会議参加
- ・ 9/1(金)・3/1(金) 子ども子育てプラザ下井草のび～のひろば参加
- ・ 11/5(日) すぎなみフェスタ 子ども向けのゲームコーナー出店 (Fig.2)
- ・ 2/8(木) 杉並区子ども家庭支援センターにて事業説明及び意見交換会 プレゼンターとして参加
- ・ 2/18(日) 上荻四町会寒中もちつき大会参加



Fig.1 西荻南区民集会所ちびっこ祭りの  
キャンディレイとゲーム券



Fig.2 すぎなみフェスタ出店

# I ひろば事業

## 1. つどいの広場上萩

事業日程	月・火・木・金・第4土曜 10:00～15:00 第2～5水曜日 11:00～16:00
場所	ドミトリー上萩Ⅱ1F (お茶の間ひろば茶ちゃ)
利用料	100円
従事スタッフ	9名 (内2名配置)
対象者	乳幼児親子他
年間利用組数	1,058組



Fig.3 誕生月の子のためのフォトスポットとカードとメダル



Fig.4 10月ハロウィンパーティ

### 【概要】

地域子育て支援拠点として、子育て中の親子が気軽につどい、相互交流や子育ての不安や悩みを相談できる場を提供する。ひととき保育に併設される杉並区補助金事業。

### 【今年度の成果】

#### ① 平日の活動

- ・ 昨年同様0歳、1歳児を持つ親子の利用が多かった。また育児休業中の父親の利用が増えた。
- ・ ひろば・ひとときの利用者が、混じり合って仲良く遊ぶ姿が見られ、午前だけでなく、午後も賑わう日が多かった。
- ・ 5月から、お茶の提供を始めたが、利用する方は少なかった。
- ・ 水・土曜日は、体重計や身長計を準備し、計測できる日とした。
- ・ 誕生月の子を対象に声かけをして、フォトスポットを設置し、折り紙で作ったメダルやカードをプレゼントした(Fig.3)。

## ② 土曜日の活動

ひととき保育が休みである土曜日は、室内全部をひろば占有のスペースとして有意義に活用し、毎月ミニイベントを開催した。

イベントには、夫婦で参加する方も多く、子育てへの関心の高さが感じられた。

- 4月 パパ・ママの情報交流会①
- 5月 パパ・ママの情報交流会②
- 6月 幼稚園の情報交換会
- 7月 保育園の情報交流会 (ゲスト) 樹保育園 河地園長
- 8月 子育てママ・パパのためのマナーセミナー  
(ゲスト) ソニー生命ライフプランナー
- 10月 ハロウィンパーティー (ゲスト) Littlebirdy Yumi 先生 (Fig.4)
- 11月 お口のおはなし (ゲスト) あかり歯科院長他歯科衛生士
- 12月 クリスマスパーティ (ゲスト) Littlebirdy Yumi 先生
- 1月 足と靴のおはなし (ゲスト) ATELIER TOUCH 内山知子先生
- 2月 保育園について質問してみよう (ゲスト) 樹保育園保育士 多田先生
- 3月 子育てママ・パパのためのマナーセミナー  
(ゲスト) ソニー生命ライフプランナー

## ③ ひととき保育・事務局との連携

- ・ 昨年に比べると、ひろば・ひととき保育共に利用者が増えて、お互いの協力が不可欠だった。スタッフ同士が互いの業務を分担したり、手助けできるよう、行動を具体的に伝えるように声をかけることに努めて、利用者には気持ちよく利用してもらえるよう意識した。
- ・ 分科会の際には、ヒヤリハットを共有し、安全対策を強化した。
- ・ 月一回、避難訓練を合同で行った。
- ・ ひろば利用者にひととき保育やリトミックの予約希望者がいないか声掛けをし、事務局に予約手続きの対応を依頼した。
- ・ 区の依頼により自己評価を行い、ヒヤリングを受けた。利用者対応、実施事業内容はどれも高い評価だったが、より評価を高めるため、利用者の声や意見を広く伺う機会として、利用者アンケートを実施した。つどいの広場だけでなく、ひととき保育、赤ちゃんカフェなど、他の事業も併せて行ったが、満足度が高い結果となり、感謝の気持ちなど、ひろばの対話の中では聞くことができない、多くの意見をいただいた。今後も利用者の声を運営に活かせるよう、アンケートを継続し、活かしていきたい。

## 2. きずなサロン プチシュシュ

事業日程	毎月第4木曜日 9:30～11:30
場所	井草地域区民センター内 和室
利用料	100円
従事スタッフ	3名
対象者	乳幼児親子他、地域の方
年間利用組数	45組



Fig.5 季節の折り紙



Fig.6 和室で畳の良さを感じる利用者

### 【概要】

社会福祉協議会のきずなサロンとして井草地域区民センターで開催している出張ひろば。対象を定めず、乳幼児親子他、地域の方が誰でも利用することができる居場所事業。

### 【今年度の成果】

外部との交流が盛んな一年になった。プチシュシュは、自然と利用者同士で話の輪が広がり、誰のお子さんでも抱っこして遊ぶ光景が見られる。温かい交流の場となっている居場所づくりを継続していきたい (Fig.5 Fig.6)。

#### 5月 子育て支援情報交換会への参加

地域の子育て支援の中核となる、子ども子育てプラザ下井草主催の「子育て支援情報交換会」に参加した。そこで知り合った「子どもの本の家ちゅうりっぷ」さんに見学に行った。

#### 6月 ウェルカム麦茶の提供開始

暑い日にマスクを少しだけ下げながら冷たい麦茶に喉を潤す利用者から笑みがこぼれ、スタッフも笑顔になった。

#### 7月 「子どもの本の家ちゅうりっぷ」さんの見学

子育て情報交換会への参加により、他団体と相互交流を深めることができた。

#### 9月 のび～のひろばへの参加

子ども・子育てプラザ下井草からの声かけで「のび～のひろば」へ参加した。

のびへのひろばは、プラザのひろばにおいて、地域の子育てボランティアや団体がひろば利用者へのサポートをすることができる場である。そこに参加することによって、シュシュの子育て支援事業を紹介することができ、プチシュシュだけでなく、つどいの広場上荻への利用にも足を運ぶ利用者が増えた。

12月 子育てきずなサロン交流会に参加

社会福祉協議会主催の子育てきずなサロン交流会に 7 団体が参加し、それぞれの活動について話し合うことができた。

2月 社会福祉協議会の実習生の訪問

### 3. 赤ちゃんカフェ

開催日時	毎週水曜日 9:00～11:00
場所	ドミトリー上荻Ⅱ 1F (お茶の間ひろば茶ちゃ)
従事スタッフ	5名 (内3名配置)
対象者	0歳児親子・妊娠中の方
利用人数	253組
参加費	1,000円 (子育て応援券使用可) カフェ代別途 50円



Fig.7 カフェメニュー



Fig.8 リトミック講師によるリトミック体験会

#### 【概要】

0歳児の親子や妊婦に対して癒やしの場所を提供すると共に、育児相談や、育児に関する情報提供を行う。

#### 【今年度の成果】

- 令和5年度は、開催場所を杉並会館からお茶の間ひろば茶ちゃ（ドミトリー上荻Ⅱ1階）に戻して2年目となった。開始時間が早いため、利用者の出足が遅い日もあったが、10組以上集まる日もあり、そのままつどいの広場への利用に流れて、楽しくおしゃべりをする親子もみられた。
- 抱っこ紐と育児相談は、前年と同様毎月行い、定着してきた。

- ・新しい試みとして、ハーブティー講座、ネイルケア、あかり歯科による歯の話、足と靴の話、ストレッチなどを行い、どれも好評で利用者増加に繋がった。以前シュシュの利用者だった方たちが協力してくださる講座もあり、今後も続けていただきたい。
- ・スタッフによる季節の行事(七夕、十五夜)、読み聞かせ、おもちゃ作り、手遊びをおこなうことで、会話も弾み、親子のスキンシップを高めることが出来た。
- ・カフェインレスドリンクとお菓子を提供するお茶の時間は、赤ちゃんを離れて親同士のコミュニケーションが弾む場となり、様々な情報を得たり、リフレッシュする時間を意識するなど、新たな発見をする機会となった。
- ・赤ちゃんカフェに来るきっかけは、いくつかある。第二子を出産し、第一子からのリピーター利用の方や、SNSを見て赤ちゃんカフェに参加する方が増えている。多くの方に赤ちゃんカフェを知ってもらうため、町の掲示板である「でんごんくん」へのポスター掲示やシュシュつうしんでのお知らせとともに、LINE やインスタグラムなどの周知も継続していく。

## II 預かり保育事業

### 1. ひととき保育上荻

事業日程	月・火・木・金曜日 9:00～17:00 第2～5水曜日 11:30～17:30
場所	ドミトリー上荻Ⅱ1F (お茶の間ひろば茶ちゃ)
従事スタッフ	10名 (内2～3名配置)
対象者	6カ月～小学校入学前までの登録したお子様
利用人数	1,548組
利用料	1時間 800円 (子育て応援券利用可)



Fig.9 おやつの様子



Fig.10 安全対策のコーナーミラー

#### 【概要】

ひととき保育は、保護者の方が仕事、通院、リフレッシュ等でお子さんを預けたいときに、1時間以上30分単位でお子さんを預かり、保育する事業。

## 【今年度の成果】

つどいの広場とともに活動を再開して2年目は、利用者の増加と安定がみられた。前年度からの利用者の引き続きの利用や、新規のお子さんも増え、毎月の利用者数が安定してきた。利用者が増えた要因として、ベネフィットワンが提供する福利厚生サービスである育児補助金制度「すくすくえいど」の使用が増えたことが考えられる。すくすくえいどは利用者の所属企業によって利用規定が違うため、利用料授受の際には細心の注意を要した。

また、社会的に保育施設での安全対策が重要視されたことから、対策にかかる経費に東京都から安全対策支援補助金が下りることになった。午睡や昼食時に扉で仕切りを設けるため、部屋の構造上死角がでやすかったが、補助金を活用してベビーモニターやコーナーミラーを設置し、死角を減らすことができた (Fig.10)。

1歳、2歳児の利用もある中、0歳児の利用割合が増大した。低月齢の赤ちゃんの利用も多くなってきたので、ベビーラックの購入やおんぶ紐の見直し購入を考え、対応しているところである。これからも、一人ひとりのお子さんのありのままの姿を受け止め、寄り添い、安全に安心して過ごせるようにスタッフ間で声をかけあいながら保育につとめていきたい。

## 2. 子ども・子育てプラザ(天沼・善福寺) 一時預かり

### 【概要】

杉並区が設置し運営する地域子育て支援拠点施設である、子ども・子育てプラザ内に設置された乳幼児の一時預かり施設。ひととき保育同様、保護者が仕事や通院、冠婚葬祭などの用事やリフレッシュしたいときなどに、一時的にお子さんをお預かりし保育する杉並区委託事業。

### 2-1. 子ども・子育てプラザ天沼一時預かり

事業日程	月～土曜日 9:00～17:00 (土曜日は 9:00～16:00)
場所	子ども・子育てプラザ天沼一時預かり
従事スタッフ	15名 (内 4~5名配置)
対象者	6カ月～小学校入学前までの登録したお子様
利用人数	2,373組
利用料	1時間 800円 (子育て応援券利用可)

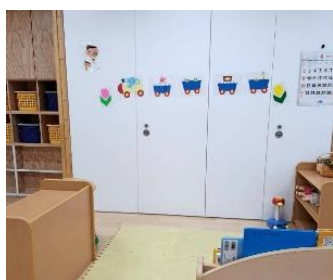


Fig.11 家具の配置を工夫したコーナー保育



Fig.12 子ども自ら遊べる環境設定



## 【今年度の成果】

一年を通して、非常に多くの方にご利用いただきました。特に年度末には定員いっぱいの為、登録、利用ともに希望通りに予約を受けることができず、お断りすることも多くあり心苦しくもあつた。

子ども自らが遊びを選べる環境設定を行い、発達に応じた遊びを体験できるようにする一方、他の子との関わりも大切にし、お互いに良い影響となるよう促した。また、夏休み、冬休みなど幼稚園の長期休みには4～6歳の利用が増え、子どもたちの年齢の幅が広がる為、それぞれの子どもたちが安全に、また楽しめるよう年齢や経験に合わせた遊びを工夫した。

月に一回の分科会だけでなく、朝のミーティング、シフト交代時間の引継ぎなどを利用し、スタッフ間のコミュニケーションを密にとり、チームワーク良く保育できるよう心掛けた。

子ども・子育てプラザとの交流も積極的に行ってきた。子どもたちと一緒にあそびに行くのはもちろん、月に一回の打合せだけでなく、プラザスタッフとプラザのひろば利用者（保護者）とで行うプラザミーティングにも参加した。またその都度、子育てに不安を感じている方や、子どもを育てにくいと感じている方など、利用者親子の情報を共有したり、より良い支援ができるよう話し合うなど、良好な関係を築いてきた。

「親子の今に寄り添い、成長をともに喜びあえる場にします」という天沼一時預かりのミッションのもとに、保育への共通認識を高め、親・子にとってもより良い環境を整え保育していきたい。

## 2-2. 子ども・子育てプラザ善福寺一時預かり

事業日程	月～土曜日 9:00～17:00（土曜日は9:00～16:00）
場所	子ども子育てプラザ善福寺一時預かり
従事スタッフ	12名（内4名配置）
対象者	6カ月～小学校入学前までの登録したお子様
利用人数	1,761組
利用料	1時間 800円（子育て応援券利用可）



Fig.13 室内の様子



Fig.14 つなげて遊ぶ手作りおもちゃ

### 【今年度の成果】

新規オープンから2年目を迎え、登録や利用も増えてきており、地域の方にも周知されてきていることを感じた。定期的に利用する方も増え、保護者や子どもも慣れてくる様子が見られた。またスタッフも経験を重ね、利用者との信頼関係を築いてきた。

月1回の分科会では、互いが知り得た情報を共有し、子どもへの関わりや保護者対応について、共通認識のもとで保育が行えるように努めた。また、研修にも積極的に参加し、保育の専門性を高めるよう努めた。

保育の現場では季節の制作や手作りおもちゃを用意するなど、お子さんの興味や発達に合わせておもちゃ遊びを提供したことで、楽しそうに集中して遊ぶ姿が見られた。またプラザのひろばには広いプレイホールや豊富なおもちゃがあるため、年齢や預かり時間に応じ、ひろばを利用するなど、楽しくすごせるよう日々の保育計画を立てた。散歩は事業開始時からマニュアルを整備し、気候が良くなった今年度4月から本格的に実践した。出かけた回数は少なかったが、川沿いを散策するなど、子どもたちにとっても気分転換となった。今後も積極的に出かけられるよう計画したい。

子ども・子育てプラザとは天沼同様、毎月の打ち合わせやプラザミーティングに参加し、情報の共有や利用者も含めた交流に努めている。

普段保育園に通うお子さんが、土曜日に利用したいというニーズが多くあった。また、障害があるお子さんの利用や問い合わせも増えており、配慮することなどを丁寧に聞き取り、安全にお預かりできるよう努めた。

令和5年度開始と同時に、スタッフ皆で考えたミッション「親子の今を希望の未来へつなげよう」ができた。保護者やお子さんが安心できる場所として利用していただけるよう、より良い保育を追求し、温かい雰囲気でお預かりできるよう心掛けたい。

### 3. 集団託児

託児実施件数	24件（託児依頼件数33件）
従事スタッフ	9名中、毎回2～3名派遣
対象者	乳幼児
利用人数	42名

#### 【概要】

集団託児は、主に講座などの開催時に依頼を受けて実施する託児で、その多くが杉並区からの委託によるものである。

#### 【今年度の成果】

託児児童は1～3名と少なく、月齢も幅広い。また、初めて対応する子どもがほとんどであるため、スタッフはより子どもが飽きないよう、性別や発達に合わせたおもちゃを選び、楽し

く託児時間を過ごせるよう考慮しながら準備をした。

託児実施件数は前年度の1.5倍となった。コロナ禍が落ち着き、区イベントが増加したことと、各イベントで託児を依頼する区民も増えたと考えられる。とは言え、依頼数の3割が希望者無しで中止になってしまうため、受託事業者にとっては大きな負担となり、受託することのリスクは大きい。そのため、受託事業者が少ない現状もあり、区から期待されている。

### Ⅲ 妊娠期からの子育てまでの情報啓発事業

#### 情報誌の発行

##### 【概要】

シュシュの子育て支援事業を紹介するため、隔月で「chouchou つうしん」を発行している。イベントのお知らせ、会員やスタッフの募集など、テーマを決めて発行し、子育て支援の内容を知ってもらう。

##### chouchou つうしん発行部数

vol.85	5月発行	約2,000部
vol.86	7月発行	約2,000部
vol.87	9月発行	約2,000部
vol.88	11月発行	約2,000部
vol.89	1月発行	約2,000部
vol.90	3月発行	約2,000部
フェスタ特別号(2023.11.05)		約220部



Fig.15 chouchou つうしん

##### 【今年度の成果】

コロナ禍で休止になっていた「chouchou つうしん」を、令和4年度のすぎなみフェスタに合わせて復活させ、その後継続的に発行している。シュシュの活動を20年間支えていただいた地域の皆様への感謝と、ニーズに寄り沿った幅広い子育て支援の内容を知ってもらい、子育ての力になればという思いを込め発行している。

児童館や保健センター、自治会の回覧板などに広く配布し、子育て世帯やその家族の目に留まり、少しでも多くの方の子育て支援へ繋げていきたい。

また、シュシュの活動を応援してくださっている方へ、活動報告として郵送している。

## デジタルによる情報発信 SNS 発信

### 【概要】

ホームページ、SNS 等デジタル媒体を駆使して、子育て世帯向けイベントやシュシュの活動の魅力を発信している。

ホームページ 年間訪問者数	約 15,000 人
ブログ アップ数	77 件
LINE 発信件数	約 400 件
* 2021 年 7 月開設	昨年度より 70 件増
Instagram フォロワー数	176 人
* 2023 年 8 月開設	
X(旧 Twitter/ツイッター) ブログとのリンクが無くなったため 2023 年 5 月から発信休止中	



Fig.16 chouchou ホームページの  
二次元コードと各種 SNS

### 【今年度の成果】

以前より情報発信として活用しているホームページ・ブログ・LINE・子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」の更新と合わせて、若い世帯へ向けた情報発信として 8 月より Instagram を開設し、着実にフォロワー数を増やしている。LINE は参加者募集情報など、当日、または翌日の情報を発信すると利用者から即座に反応があり、リトミック予約や赤ちゃんカフェ、プチシュシュの参加者増につながった。ホームページにて各事業の詳細を、LINE にてイベントなど告知、ブログと Instagram にてイベントの告知と報告など、各媒体を使い分け、より広くの世代に向けてシュシュの活動の魅力を伝えること目指している (Fig.16)。

### 1. 親子リトミック講座

事業日程	毎月第 2・4 火曜 第 1・3 木曜 年 5 回第 2 土曜日
場所	西荻地域区民センター 第 2 音楽室 軽運動室 レクレーション室 お茶の間ひろば茶ちゃ
従事スタッフ	講師 2 名中、毎回 1~2 名 事務スタッフ 毎回 1~2 名
対象者	地域の乳幼児親子
利用料	1,500 円 (子育て応援券利用可)
実施回数・参加組数	37 回 261 組(コンサート 2 回含)



Fig.17 レッスンで使われる楽器や道具



Fig.18 クリスマスコンサート

### 【概要】

親子リトミックは親子のコミュニケーションの促進、他の親子との関わりのかきかけ作りを目的としている。

### 【今年度の成果】

ここ数年、利用者の減少が続く中、シュシュの親子リトミックの魅力発信に試行錯誤を重ねてきた。令和5年度は、前年度のミーティングで整理した「課題解決を考える年」としてスタートした。定期レッスンでは、十分な人数が集まらない状態で開講したことや、開講人数に達せず、実施できなかったこともあった。

一方、季節のコンサートは順調に申込みがあり、クリスマスコンサートは申込開始わずか2日目に定員に達した (Fig.18)。このことから、定期レッスンとは違い、イベントの特別感や魅力が利用者を引き付けることが分かった。

講師の先生方とシュシュリトミックの歴史を振り返ると、かつて月に14クラスあったクラスも3~4クラスとなり、時代のニーズの変化を強く感じ、協議を重ねた結果、定期レッスンの開催は令和5年度で終了することとなった。熱心に毎回参加して下さる親子もあり、惜しまれながらの終了となった。今後は季節のコンサートや広場事業への協力で親子リトミックの魅力を発信していきたい。

## IV 家庭訪問型子育て支援事業

### 産前・産後支援ヘルパー

事業日程	月～土曜日 9:00～19:00		
従事スタッフ	従事スタッフ 27名		
対象者	区内の産前・産後の家庭		
派遣時間	産前・産後 要支援	2927時間 172時間	多胎 自主 305時間 19時間
利用料金	産前・産後 多胎 自主	1時間 1時間 1時間	1,000円 500円 2,000円 (子育て応援券利用可)

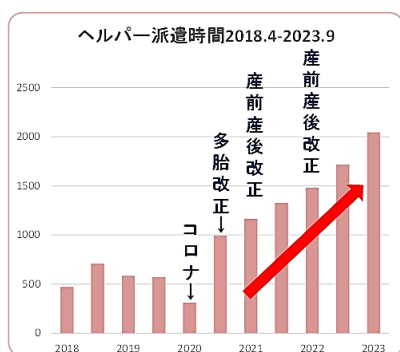


Fig.19 ヘルパー派遣時間推移



Fig.20 ママペルシュさんでの沐浴研修

#### 【概要】

産前・産後の家事や育児の支援が必要な家庭を、ヘルパーが訪問する杉並区委託の子育て支援サービス。

#### 【今年度の成果】

杉並区のヘルパーの制度は毎年改正が行われており、利用期間の延長、利用時間の増加、サービス提供条件の緩和など、対象者が拡大し続けている。令和5年度も、これまでは家事支援が主だったヘルパーの役割にベビーシッター業務が加わり、ヘルパーが対象児のお世話を直接できるようになった。そのため、依頼内容もお子さんの見守りが増えた。依頼件数は10月頃までは伸び続け、希望に添えないことも多かったが、11月以降は前年並みの件数に落ち着いた (Fig.19)。杉並区の出産数減少と共に、激増してきた様子は落ち着き、希望者にサービスが行き届くと思われる。

また、ヘルパーが赤ちゃんのお世話ができるようになったことで、これまで補助業務だった沐浴を主体的に受けるようになった。主力サービスではなかったため、ヘルパーの中には改めて学びたいという者が多く、産後ケア施設「ママペルシュ」さんの協力で沐浴研修を行った。予定した研修日程はすぐにいっぱいとなり、9名のヘルパーが受講し、実践に生かすことができた (Fig.20)。

また、要支援ヘルパーも依頼件数の増加とともに、ヘルパー事業者が受託しやすいよう、制

度改正があった。利用者の多くが保育園利用者であるため時間外の依頼が多く、17時以降の依頼も受託するようになった。毎月のヘルパー会議では、ヘルパーが様々な家庭で感じる課題を共有し、要支援家庭への関心や意識の向上につながった。要支援ヘルパー研修の希望者が増えたことで、要支援家庭への対応が可能なヘルパーの増加につながった。

## V 子育て関連ネットワーク構築事業

### 多目的スペース「お茶の間ひろば茶ちゃ」の運営

事業日程	(土)(日)9:00~17:00
従事スタッフ	従事スタッフ5名
対象者	地域の方
利用件数	24件



Fig.21 Littlebirdy さんの利用



Fig.22 フリーマーケット

#### 【概要】

多世代が交流・利用できる場として多目的スペース「お茶の間ひろば茶ちゃ」を開設している。平日は法人事業で親子の居場所事業、一時預かり事業として活用。土曜、日曜の休日にスペースレンタルやイベントを行う。

#### 【今年度の成果】

平日は法人事業でほとんどの時間を活用しており、レンタルスペースとして土曜と日曜に、引き続き Littlebirdy さんの利用があった (Fig.21)。Little Birdy さんからは自身の事業啓発のため、赤ちゃんカフェや土曜ひろばのイベントにボランティアでの開催の申し出があり、協力してくださった。イベントは毎回好評で、ひろば事業の利用者促進につながり、シュシュと Littlebirdy 双方に良い効果をもたらしている。

また、法人内の事業もリトミックレッスン、コンサート、フリーマーケットなど、茶ちゃでの土日開催を企画し、より地域の方にこの場所を知っていただく機会となっている (Fig.22)。

## VI 認可保育所運営事業

### 樹保育園

事業日程		月～土曜日 7:30～19:30					
従事スタッフ		正規職員 18名 パート職員 8名					
対象者 (3月31日現在 50名/59名)		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	定数	3名	10名	10名	12名	12名	12名
	在園児	3名	10名	10名	11名	11名	5名
	欠員	0名	0名	0名	1名	1名	7名



Fig.23 いがぐりを触る1歳児



Fig.24 秋まつり てっぱんやきのお店

#### 【事業概要】

保護者が様々な事情でお子さんの保育が家庭でできない場合、保護者に代わって保育をする施設。令和4年3月まで運営してきた小規模保育施設から引き継ぎ、4月に認可保育所に移行した。

#### 【今年度の成果】

- ・ 2年目を迎え保育施設の見学者や保育体験の申し込みが急増し、地域の方たちの関心を得ることができた。
- ・ 運営委員会で、各クラスの保護者代表の委員を通して意見・要望を伺うことができ、今後の保育の参考としていく。
- ・ 新行事として、今年度は秋まつりを計画した。幼児クラス子ども達と職員がどんなお祭りにしたいのか話し合い、「おみこしを作ろう」「お店屋さんがいいよ」などの意見を形にした。1階をおみこしで練り歩き、2階に屋台のお店を設置し、全クラス子ども達と保護者で楽しむことができた。後日、保護者の方々からいただいた感想をもとに、来年度はさらに楽しい秋まつりにしていきたい。



～事業内容～

- ① 秋まつり...9月22日(金)1部16:30~17:10 2部17:30~18:10の入れ替え制  
内容：幼児のお神輿ねり歩き、お店屋さんごっこなど (Fig.24)
- ② 遠足...10月2日(金)9:00~14:00 野川公園  
対象：4歳児12名、5歳児6名 合計18名 職員4名
- ③ お弁当持ち散歩...10月11日(水)9:45~12:30 原っぱ公園  
3歳児クラス 10名 職員2名+園長
- ④ 運動会...11月18日(土)9:15集合 9:30開始~11:30終了 桃一小学校体育館使用  
対象：2歳児クラスから親子参加  
昨年使用した場所なので、子どもたちの場所への不安感は軽減されていた。
- ⑤ 第45回保育まつり... 令和5年12月20日(水)受付9:30~ セシオン杉並  
対象：5歳児5名 職員1名+園長  
内容：劇団角笛による影絵  
昨年は杉並公会堂で歩いて行けたが、今年は地下鉄を使って行ったので子ども達にとっても良い経験となった。
- ⑥ 卒園遠足...令和6年3月27日(水) 石神井公園  
対象：5歳児クラス 職員2名(担任+3歳児担任1名)
- ⑦ 卒園式...令和6年3月22日(金)開始10:30~  
対象：5歳児及び保護者  
4歳児(列席)3歳児(お祝いのプレゼント) (Fig.25~27)  
職員：園長、主任、副主任、幼児担任、プロジェクトメンバー  
1部式 2部劇「おむすびころりん」  
来賓：理事長
- ⑧ お別れ会...令和6年3月29日(金)15:50~  
対象：5歳児+転園児 参加：全クラス



Fig.25 在園児へのプレゼント  
園庭用 ままごとテーブル



Fig.26 4歳児からのプレゼント  
日めくりカレンダー



Fig.27 3歳児からのプレゼント  
花瓶

## VII 今後に向けて

令和5年度は、スタートダッシュから安定した走りへの移行期となった。令和6年度は、さらに、事業の安定した運営を目指し、充実した環境整備を進めていく。また、地域の他施設や地域住民のみなさまと連携をし、地域に根付いた「子ども・子育て支援施設」であることを目指す。今後は、行政や企業、近隣の小中学校、高等学校、大学等教育研究機関、地域商店、町内会との結びつきをさらに強めていきたい。

NPO法人すぎなみ子育てひろば chouchou は、これからも、行政とともに、乳幼児親子の子育て支援、保育事業を基軸として、強みである「地域の力」を発揮しながら、妊産婦、乳幼児親子に対して、切れ目ない子育て支援を多角的に展開していく。予想以上の速さで進む少子高齢化社会で、必要とされる子育て支援は何か、そして私たちは何をすべきか、常に前を向いてその可能性を探る。そして、誰もが生き生きと暮らせる街、子育てしやすい街、住み続けたい街、働きたい街、笑顔あふれるコミュニティの創造を目指す。